桑名市議会議長
　　伊藤　真人　様

第１班　班長
　　佐藤　　肇　　印

議会報告会実施結果報告書

<table>
<tr><td>開 催 日 時</td><td colspan="5">令和　元年　12 月　6 日（　金　）　18 時 30 分～20 時 00 分</td></tr>
<tr><td>開 催 場 所</td><td colspan="5">大山田まちづくり拠点施設</td></tr>
<tr><td rowspan="4">出 席 議 員</td><td>班　長</td><td colspan="4">佐藤　肇</td></tr>
<tr><td>司　会</td><td colspan="2">倉田　明子</td><td>記録者</td><td>畑　紀子・成田久美子</td></tr>
<tr><td colspan="2">伊藤　惠一</td><td colspan="2">太田　誠</td><td>仮屋　武人</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>参 加 人 数</td><td colspan="5">29 人</td></tr>
<tr><td>議会報告の概要</td><td colspan="5">1. 開会挨拶（班長）
2. 自己紹介（全員）
3. くわな市議会だよりから報告・説明
①令和元年 6 月・9 月定例会の報告
②平成 30 年度一般会計決算の説明
4. 上記報告・説明に対する質疑応答、意見交換</td></tr>
<tr><td>主な意見・要望</td><td colspan="5">・ふるさと納税の寄附実績と返礼品について。
・南海トラフ地震が発生したときの避難について。
・伊勢大橋の工事遅延について。
・今回は多数参加者で意見も活発。大変有意義である。
・市民を守る防災意識がみえない、疑問である。
・災害時の医療問題について。
・防災訓練ＨＵＧ（ハグ、Ｈ避難所・Ｕ運営・Ｇゲーム）について。
・工業団地造成に伴う県道の拡幅について
・小学校の防災備蓄倉庫に入っている品物の数が足りない。
・阪神淡路大震災時に「てこ」で人命救助した。市でも常備を。</td></tr>
<tr><td>備　　考</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

議会報告会記録

【第　1　班】

開　催　日　時	令和 1 年 12 月 6 日（　金　）　　18　時　30　分　～　20　時　00　分	
開　催　場　所	大山田まちづくり拠点施設　2 階　会議室	
参　加　人　数	29 人	
議会報告に対する質疑応答	質　　問	回　　答
	・『ふるさと納税について』	
	どれくらいお金が入ってきているのか。	平成 30 年度（4 月～3 月）寄附実績は約 2 億 7,700 万円で、
		令和元年度（4 月～10 月）寄附実績は約 1 億 2,000 万円と
		聞いている。
	・返礼品はどのような物を返しているのか。	主に精肉、ハマグリ、こめ油等が選ばれている。
	・ふるさと納税返礼品に対して、市はどれくらい払って	返礼品の調達割合は寄付額の 3 割としている。
	いるのか。	
	・市民が他の市町にどれくらいふるさと納税をしている	平成 30 年（1 月～12 月）実績は、約 2 億 5,700 万円と聞いて
	のか。	いる。
	・『議案第 107 号桑名市宿泊施設誘致促進条例の制定につい	
	て』	
	これは、ＩＲと関係があるのか。	この条例は企業誘致と同じである。これは、市内にビジネス
		ホテルはたくさんあるが、もう少し家族向けのホテルを誘致
		したいという条例で、ＩＲに関するものではない。

○…発言者　⇒…回答者

テーマ 「防災」 参加者からの 意見・要望等	○南海トラフ地震が発生したら、桑名市も震度 6 強で津波がくる。国道 1 号線から湾岸道路まで大変な被害になる。
	簡単に避難できるのか。
	⇒90 分以内に津波がくると聞いている。城南地域は高台へ避難と想定している。
	○いざという時、道路は渋滞して逃げられない。国道 1 号線は日常的に渋滞している。そこをどうするか考えてほしい。
	4 車線の道路を作って、大型車両も通れるように国に声を上げてほしい。
	⇒防災と日常のインフラ整備は切り離して考えてほしい。なかなか進まないが、毎年、国交省へ要望を出している。
	避難は車ではなく徒歩で、垂直避難で逃げる。自分の命は自分で守るように訴えている。
	○伊勢大橋は平成 27 年から工事が始まり、当初 5 年で完成予定だったが未だ出来ていない。
	⇒早期完成を目指し、期成同盟会を立ち上げて取り組んでいる。
	○伊勢大橋工事 5 年目に入ったが、こんなに遅い工事の理由は？
	⇒議会も毎年陳情・要望を国へ出しに行っている。国交省も粛々と工事を進めているので、ご理解いただきたい。
	○各地域に垂直避難できる拠点やマンションを作ってほしい。
	⇒既存のビルやマンション等と緊急一時避難場所としての協定を締結している。
	⇒伊勢湾台風の時に長島町は 15 カ所決壊した歴史がある。避難施設について、10 月 19 日に伊曽島地区において
	津波避難誘導デッキ建設説明会があった。
	○ナガシマリゾートに来ている人たちが被災したらどうなるのか？
	⇒帰宅困難者については想定している。湾岸高速道路への避難を予定している。今後も事業者と話し合い、対策を考えて
	いかなければならない。
	○前回、出席した大成地区の議会報告会は 40 名参加だった。3 年前この大山田での参加者は 5 人だったが、今回は多数の
	参加で内容もよく活発に意見も出ており大変有意義だと思う。
	防災についての提案として、全戸配布のハザードマップ等を自治会総会や防災訓練に持参して啓発活動したらどうか。

○…発言者　⇒…回答者

テーマ 「防災」 参加者からの 意見・要望等	○防災意識について
	市として住民を守ろうという意識があるのか。見えないし疑問だ。ＮＨＫで首都直下地震の番組が放映されていたが
	桑名市で起きた時、帰宅困難者や死者の数は予想、把握しているのか。
	⇒生命と財産を守るということで、市当局は動いている。
	意識は非常にあり、考えて対策をしている。具体的な予想数は県のホームページに記載されている。
	（待ったなしの問題だよ、との声あり）
	○医療従事者として、新しい病院建設は「高台にしてほしい」と今の場所への反対をした。
	津波が来たらどうやって患者を助けるのか。災害時の医療問題を考えてほしい。
	⇒新しい病院にはヘリポートはないが、命を守るための対策・対応をしていく。
	○大山田南小学校体育館で防災訓練ＨＵＧ（ハグ、Ｈ避難所・Ｕ運営・Ｇゲーム）に初めて参加した。
	地域住民が協力して行う訓練で、とても勉強になった。もっとやるべきだと思う。
	○他地域の防災訓練を見学に行きたいので、市広報などに各地域の訓練日程掲載を望む。
	○各小中学校の備蓄倉庫に入っている備品の中で投光器、発電機、チェンソー、浄水器の数は？
	⇒小学校に投光器 2 機, 発電機 1 機, チェンソー1 台, 浄水器 1 器, 中学校には無い。
	○自治会単位でもそのくらいは備えている。数が足りないのではないか。
	○阪神淡路大震災の時、「てこ」を利用して人命救助ができたと聞く。市でも「てこ」を常備されたらよいと思う。
	○今、盛んに多度地区などで工業団地を造成中だが、住宅地を大型トラックが走るのに、道路が一つも作られていない。
	拡幅されていない。県に陳情しないのか。
	⇒重々承知している。議員も一生懸命動いている。土地所有者との兼ね合いもあり、決して放置しているわけではない。
	今後も引き続き頑張って取り組んでいく。

○…発言者　⇒…回答者

テーマ 「その他」 参加者からの 意見・要望等	○多度地区の小中一貫校についてのアンケートで、知人から建設予定地が団地のそばだから反対と聞いた。
	なんでもアンケートを取ればよいわけではない。市として予定地を計画したならば、住民を説得するのが行政の責任
	ではないのか。
	○藤が丘のモニュメントの件についてのアンケートも無駄なことだ。
	お金使って採るアンケートではない。余分なお金を使わずに自信を持って実施してほしい。
	なんでもアンケートを取ればよいわけではない。市として予定地を計画したならば、住民を説得するのが行政の責任
	ではないのか。